

●日常生活機能評価表

患者の状況	得点		
	0点	1点	2点
床上安静の指示	なし	あり	
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
寝返り	できる	何かにつかまればできる	できない
起き上がり	できる	できない	
座位保持	できる	支えがあればできる	できない
移乗	できる	見守り・一部介助が必要	できない
移動方法	介助を必要としない移動	介助を要する移動(搬送を含む)	移動なし
口腔清潔	できる	できない	
食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
他者への意思の伝達	できる	できる時とできない時がある	できない
診療・療養上の指示が通じる	はい	いいえ	
危険行動	ない	ある	
		合計得点	点

※得点：0～20点

※得点が低いほど、生活自立度が高い。

●modified Rankin Scale(mRS) ( )は参考にすべき点

**Grade0** 障害が存在しない(自覚徴候なし。)

**Grade1** 明らかな障害は存在しない(自覚徴候はあるが、仕事・活動は可能。)

通常動作を補助なしで行える。

**Grade2** 軽度の困難(仕事・活動制限。日常生活自立。)

いくつかの日常動作を行う事ができない。  
しかし多くの介助がなくても自分の身の回りのことができる。

**Grade3** 中等度困難(日常歩行。食事・身だしなみ・トイレは介助なし。)

ある程度の介助を必要とするが助けなしに歩ける。

**Grade4** 高度の困難(日常歩行。食事・身だしなみ・トイレには介助を要する。)

介助なしでは歩いたり身体の一部を好きなように動かすことができない。

**Grade5** 重度の困難(常に介助を要する。)

ベッド臥床。失禁。持続的な看護と監視が必要。

# 東京都脳卒中在宅生活ノート

脳卒中の急性期・回復期治療も一段落しますが、今後の身体機能の維持と生活の質を維持するために、専門医とかかりつけ医が今後も診療にあたります。

この東京都脳卒中在宅生活ノートを利用して、定期的な専門医の診察を合わせて、維持期療養中の脳卒中再発やその他心血管疾患の発症に注意していきましょう。

## この東京都脳卒中在宅生活ノートは

リハビリによる生活の質のアップの評価も含め日常生活で困っている点を簡単にチェックできるように工夫しました。

万一、再発した際には発症前症状の把握ができ、今後の治療やリハビリに重要な資料となります。

あなたを中心に医療職と介護職の人が情報を共有した医療・福祉・介護ができるよう、このノートを活用してください。

お薬手帳と一緒に持てばさらに安心です。

定期的な検査や専門医にかかる際にも、この東京都脳卒中在宅生活ノートを提示し、経過をみてもらいましょう。

氏名

(自署)

代筆の場合  
代筆者：

(続柄)